

令和7年6月11日

フランス国立科学研究センターおよび フランス原子力・代替エネルギー庁との連携研究拠点 「MITATE Lab. Post Fukushima Studies」の設立について

福島大学は、フランス国立科学センター（CNRS）※¹ およびフランス原子力・代替エネルギー庁（CEA）※² との連携研究拠点（IRL）※³ 「MITATE Lab. Post Fukushima Studies」を設立します。

「MITATE Lab. Post Fukushima Studies」の設立に関しまして、詳細をご説明させていただきます。この機会にぜひ取材いただけますよう、よろしくお願いいたします。

「MITATE Lab. Post Fukushima Studies」は 日本とフランスを中心とした国際的に、学際的な研究を進めることで、東日本大震災がもたらした結果とその複雑性を、人間と環境の両方の観点から探求することを目的としています。福島第一原子力発電所事故後、フランスの環境科学および社会科学の研究者とともにやってきた共同研究を受けて、2025 年から CNRS が世界各国で展開する連携研究拠点（IRL）として採択されました。この研究事業の進展により、福島の復興につながる重要な知見の発掘と地域・国際社会へのさらなる情報発信が期待されます。

また、このたびの「MITATE Lab. Post Fukushima Studies」設立に伴い、下記の日程で両機関との学術交流協定の調印式を開催いたしますので、そちらにつきましてもぜひご取材方よろしくお願いいたします。

【協定および調印式の概要】

○協定名称：フランス国立科学研究センターおよびフランス原子力・代替エネルギー庁との学術交流協定

○調印式日時： 令和7年6月23日（月）11:30～12:00

○会場： 福島大学環境放射能研究所 本棟6階 A602（大会議室）

○出席者：

三浦浩喜 福島大学長

アントワヌ・プティ CNRS 理事長

ニコラ・アルノー CNRS 地球・宇宙科学部門長

ジル・ベルナール＝ミシェル CEA 基礎研究部門長代理

そのほか、各機関の関係者 30 名程度

○言語：英語で執り行います。

○取材申し込み方法

福島大学環境放射能研究所事務室宛メール（ier@adb.fukushima-u.ac.jp）にて、6月18日までにお申込みをお願いします。

用語説明

※¹ フランス国立科学センター（CNRS）：

正式名称「Centre national de la recherche scientifique」。CNRS はフランス最大の公的研究機関です。あらゆる研究領域をカバーする 10 の部門を擁しており、生物、宇宙、物質、人間社会を探究する基礎研究において 80 年以上の経験を有しています。各分野の組織と協力しながら、複雑にからみあった地球上のあらゆる課題を解明することができます。

参考ウェブページ：

<https://www.cnrs.fr/en>

※² フランス原子力・代替エネルギー庁（CEA）：

正式名称「Commissariat à l'Energie Atomique et aux Energies Alternatives」。低炭素エネルギー（原子力・再生可能エネルギー）、物理科学・生命科学の基礎研究等の 4 つの主要分野において、研究・開発・技術革新の中心的役割を担っています。Mitate Lab. には基礎研究部門に所属する研究者が参画します。

参考ウェブページ：

<https://www.cea.fr/english/Pages/Welcome.aspx>

※³ 連携研究拠点（IRL）

正式名称「International Research Laboratory」。CNRS が世界各国で展開する国際協力の枠組みである、International Collaboration Tools の最高位にあたる連携研究組織です。日本国内では東京大学、東北大学や国の研究機関などが受入機関として採択されており、現在 13 の IRL（今回設立される「MITATE Lab. Post Fukushima Studies」を含む）が設置されています。

参考ウェブページ：

<https://tokyo.office.cnrs.fr/cooperation-japan/>

◎連絡先

（お問い合わせ先）

環境放射能研究所 准教授

脇山 義史

電話：024-548-2978

メール：wakiyama@ipc.fukushima-u.ac.jp